

検討中の屋内50m水泳場の概要

基本的な考え方

- 国際基準競泳プール水準を満たし、国内主要大会の開催が可能であること。
- 県民が広く利用できる設備を有すること。

想定する施設

- ・メインプール（50m×25m、10レーン、可動床0～3m）
- ・サブプール（25m×25m、10レーン、可動床0～2m）
- ・飛込プール（25m×22m、可動床0～5m）

- ・観客席 3,000席程度
- ・トレーニング用流水プール
- ・映像泳法・スタート解析システム
- ・トレーニング施設
- ・多目的ホール（選手控室）
- ・諸室（記録室、審判室、報道関係者室等）

（大会開催時以外は一般開放
 ・メインプール、サブプールの水深を調整
 ・トレーニング室、多目的室の一般利用

50mプール



飛込プール



観客席



流水プール



泳法解析システム



検討中のスポーツ科学拠点施設の概要

基本的な考え方

- 県民が利用しやすく、健康づくりに寄与するものであること。

(例) 年齢に応じた適切な運動、ケガをしにくい運動などの指導研修等

- 競技力の向上に資するよう、J I S Sとの連携も視野に入れること。

(例) 選手を国レベルに高めるための科学的分析、トレーニングの実施等

想定する施設

○測定室



スポーツ科学の知見に基づいたトレーニングのための、身体能力測定や動作解析等を行う

○トレーニング室



各種トレーニング機器を完備し、アスリートの競技力向上をサポート

○サポート室



栄養サポートやメンタルをはじめとした、アスリートや指導者の各種相談を受けける

○アリーナ



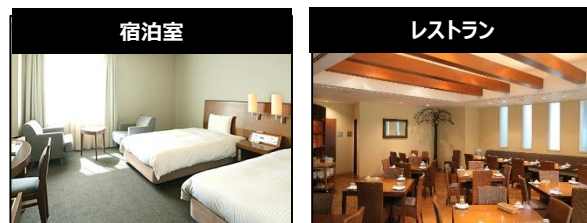
アリーナ内に複数のカメラを設置することで、ゲーム分析等が可能に

○研修・研究室



研修や講習会をはじめとする、様々な用途に利用できる会議室

○宿泊施設・レストラン



トップアスリートから子どもの合宿まで、様々な用途に対応できる宿泊室と、栄養士監修の食事を提供するレストラン